

-----  
■ さろん | Mail News 2017/1/1 | #82 ■ 【イベント号】

(\*Bcc でお送りしています)

これまで「さろん」にお申込・ご参加された方にご案内しています。  
ご案内不要の方はお手数ですがこのメールにそのままご返信ください。

-----  
哲学カフェ及び関連イベント情報をお送りします。

みなさんの興味・関心の一助としていただくとともに、

今後とも「さろん」を応援いただければ幸いです。

なお、このメールニュース掲載のコラムは執筆者の個人的な考えを表したものです。

会や専門領域における統一見解や事象を扱っているものではありません。

予めご了承ください。

=====Vol.82 2017年1月1日(日)=====

さ | ろ | ん |  
┌ ─ ─ ─ ┐

M | a | i | l | N | e | w | s |  
┌ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ┐

<http://salon-public.com/>

(バックナンバーはHPからご覧いただけます)

<https://twitter.com/salontetsugaku>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

=====

☆☆☆ A Happy New Year 2017!! ☆☆☆

【さろん スタッフより 新年のごあいさつ】

Best wishes for a Happy New Year 2017... May the New Year bring you happiness and joy.

=====

2017年を迎えて

あけましておめでとうございます。新年の門出にあたり一言ご挨拶申し上げます。皆様は2017年正月三が日をどのように過ごされるご予定でしょうか。弊会は対面の集いだけではなく、メールニュースを媒介として読者と交流をしているため、参加者の方々と弊会との繋がり・関わり方には様々な形態があります。旧年中は、弊会の活動に直接ご参加頂き、また、様々な形態でご興味・関心、ご支援を賜り、スタッフ一同深く感謝しております。

正月三が日は、日常の忙しさから離れることができるため、普段あまり考えられないことを考える

良い機会です。読者の心の中にも、少し立ち止まってみればあるはずですが。大事なこと、忘れてく  
ないこと、考えなくちゃダメなこと。そういう間いや事柄について時間を作って少し立ち止まり、  
考えてみる。そうするうちにもっと考えてみたい。誰かと一緒に対話してみたい。そのような思い  
が浮かんでくるのではないのでしょうか。そういうときは、ぜひ弊会の集いに参加され、一緒に対話  
をしては如何でしょう。

弊会は、本年もできるだけ長くこの活動を続けて行くことを念頭に、旧年中に拡張させたスタッフ  
体制を再確認し、活用しながら、より一層の思考と対話の深みを目指して集いを企画して行きたい  
と考えています。普段の職場や家庭等で語り難いテーマを考え、対話をする場として本年もぜひご  
活用頂き、一層のご高配を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。末筆になりましたが、本  
年が、皆様、および皆様のご家族にとって幸多き一年となることを心よりお祈り申し上げます。

さろん

代表 堀越

---

あけましておめでとうございます。

新年となり、まずスタッフが集まって訪れるのは、毎年恒例となった（さろんの団体として特定の  
宗教に依拠しているわけではないですが）明治神宮へのお参りです。

スタッフ皆でお参りに行くのですが、静寂とした空気が流れ、高く育った木々をみて、毎年僕の頭  
に浮かんでくるのが、「さろんもこういう場になれたらいいな」という気持ちです。  
都心にありながら、都会の喧騒に飲まれず、そこにある自然や自分の現在の立ち位置を振り返るよ  
うな場所。普段の日常とは違うけれど、普段の生活からいつでも気軽にアクセスできる場所。

そうした目標を前に、また新しい年、さろんが毎年やってきます。

今年も少しでもそうした場に近づけるよう、みなさんとともに作っていければ幸いです。

おおむら

---

いつだったか、何故年が変わることが区切りになるのだろうと疑問に感じたことがある。

1999 が 2000 になろうと、2016 が 2017 に変わろうと、それで本質的に何かが変わるのだろうかと。

客観的に見れば時間は常に同じペースで流れている。しかしそれを認識する人間は生き物である。  
恒久不変の存在では居られない。絶えず進み続ける時間を認識可能なものとして扱うには 1 分、1  
時間、1 日といった風に区切りを設ける必要がある。

人の意志に関係無くただ真っ直ぐ進み続ける、時に無慈悲とも思える時間という存在。1 年という  
区切り、その終わりとは始まりを愛でる心情とは、時間そのものを愛でようとする営みと言えるかも  
しれない。

2017年という年に対して、皆様それぞれ異なる想いがあるかと思います。さろんという場がそこに流れる皆様一人一人の時間に優しく寄り添えるような存在であるよう、お手伝いさせて頂ければ幸いです。本年もよろしくお願い致します。

楠本

---

2017年。ことし坂本龍一は、中咽頭癌から復帰後初の、そして8年振りのオリジナルアルバムをリリースします。そのニュースに個人的に刺激されていきたいなどおもっています。

さて。読者の皆さんの傍らで〈今年のさろん〉はどんな顔をしていたでしょうか。  
〈今年のさろん〉では、さろんの足元にある“さろんらしさ”を、もう一度確かめてみたいとおもいます。「考え、感じ、対話する」さろんを、ことしも一年、どうぞよろしくお願い致します。

明けましておめでとうございます。

芹沢

---

2016年、さろんの新規スタッフとして迎え入れられて、半年が経ちました。  
たくさんの人と出会い、さまざまな考えに触れていくことが、狭くてちっぽけな頭でしか世界を見られていなかったじぶんに、気づかせてくれるきっかけとなりました。  
慣れ親しんだじぶんを変容させていくことは、容易なことではありません。だけれども、月に一度の雨だれの集積が、ゆっくりじっくりと、確実に、新たなかたちを生み出していることを感じる事ができます。  
みなさまにとっても、さろんの活動が小さな驚きや変容をもたらす場であるよう、組み立てていけたらな、と思っています。  
本年も、さろんをどうぞよろしくお願い致します。

たなか

---

さろん哲学の進行を、代表の堀越とともに務めております野田です。  
昨年はさろん哲学にご参加いただきありがとうございました。

今年も引き続きさろん哲学を開催する予定ですので、皆様のご参加をお待ちしております。なお、お陰様で、既に30回以上進行を務め、手持ちのお題も大分ストックが無くなってきてました。毎回テーマをひねり出すのに苦勞しております。このお題が楽しかった、こういった対話をしたいといったご要望があたりでしたら出来るだけ対応いたしますので、お気軽にご連絡願います。

野田

---

好きな言葉は何ですか？と尋ねられたら、何を挙げるだろう。  
「一期一会」「感謝」「絆」「吾唯足るを知る」・・・？  
たしかにそれらは素晴らしい言葉だけれど、ちょっと優等生過ぎる気もする。

「好きな言葉」って必ず、すがすがしく健全なフレーズでないといけないのだろうか。

私の好きな言葉は、「けったくそ悪い！」だ。初めて耳にした瞬間に気に入って、自分のボキャブラリーに迎え入れた。難点は、使える機会がかなり限られるということ。だけど、これを言うと十中八九、聞いた人が笑ってくれる。苦笑や失笑なのかもしれないけれど。でも、ほぼ確実に相手の笑顔を見ることのできるこの言い回しが、私は大好きだ。

それに、言う方だって愉快的気分になる。試しに何か一つ、心を塞ぐ悩みを選んで叫んでみてほしい。

たとえば、

「まったく、うちの上司ときたら、本当にけったくそ悪いったらありゃしないっ!!」とか。ほら、元気がすこし戻ってくるはず。理不尽な上司も厭味っらしい友人も、どこか滑稽で憎めない相手のように思えて、自分の悩みが軽さを帯びはじめる。

生きてると、いろんなことが起きる。良いことも、悪いことも。だから、そうそういつも美しい日本語ばかり使ってもいられない。学校で習ったお行儀の良い言葉だけじゃ、人生って奴はまかなえない。時には、開かないドアを思いっきり蹴破るような力が、言語にだって必要だ。

だから、今年のご挨拶はこんな風にしようと思う。

新年おめでとうございます。昨年中は、本当にお世話になりました。今年もお互い健やかで幸せな、最高にけったくそ悪い一年を！

やぎ

---

## INDEX

【謹賀新年 2017】～さろん スタッフより 新年のごあいさつ～

【開催報告】12/3 ☆★ さろんクリパ 2016 ☆★

【1】予約受付中：1/21 さろん哲学 第77回 テーマ：「動物実験は許されるか？」

【2】予約受付中：1/15 朝さろん (64)『雪国』/〈名作から／について、考える〉

開催延期：2月 or 3月 夜さろん 第21夜「2017年です。スナック夜さろん」

【3】準備中：2017年 さろん：序 第2回 テーマ：未定

【4】準備中：－ さろん工房

【5】開催の報告：12/17 さろん哲学 第76回 テーマ：「頼る」

【おしらせ】さろんラボ 企画を募集中です♪

【6】関連イベント情報

編集後記

---

## CONTENTS

---

### 【開催報告】

---

12/3 (土) ☆★ さろんクリパ 2016 ☆★

---

さろんクリスマスパーティー2016 を下記の要領で実施しました♪

- ・日時：12/3(土) 13:00 頃から 17:30 頃まで
- ・場所：東日本橋のレンタルスペース
- ・会費：1,500 円/人 (料理 2～3 名分持ち寄り方式)
- ・人数：13 名
- ・スタッフから：今回も、ご参加頂いた皆様の積極的なご協力のお陰でほっこり笑いの裡に終了できました。参加された方々からも下記のように概ね好評を頂戴しています。
  - 「笑っぱなしでした。とっても楽しかったです。」
  - 「ほっこり素敵な歓談時間に感謝しています^^」

今回参加された方々は元より、今回は都合により参加できなかった方も、  
本年末の開催をお楽しみに！

---

### 【1】さろん哲学

---

第 77 回 テーマ：「動物実験は許されるか？」

---

第 77 回さろん哲学を下記のテーマで開催します。

日 時：2017 年 1 月 21 日 (土) 15:00-17:00

テーマ：「動物実験は許されるか？」

進 行：堀越

場 所：カフェ・ミヤマ 渋谷公園通り店 1 号室

<https://tabelog.com/tokyo/A1303/A130301/13094576/>

定 員：16 名

参加費：1,300 円/人 (ワンドリンク付/含：運営費 300 円+会場費)

▽司会から：

医薬品、化粧品等の開発や評価時に実施される動物実験。人類は、自分達の幸福追求や都合のために、人類以外の動物を手段として利用しています。動物実験は許されるか。許されるとすればそれはなぜか。今回は、動物のことを深く考えてみたい。

ご予約を受付中です。

salontetsugaku@gmail.com (予約担当：ヤギ林)

詳細はこちらをご覧ください。

<http://salon-public.com/tetsugaku/>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

サロン哲学は【原則、毎月第3土曜】開催です

---

## ——【2】朝さろん／夜さろん——

朝さろん 〈64〉『雪国』 / 〈名作から／について、考える〉

---

これまでの開催内容はHP「朝さろんの本棚」からダウンロードできます。

<http://salon-public.com/archives/category/033>

### 【朝さろん】

#### ◆朝さろん 64th morning

日 時：2017年1月15（日）am9:05-12:00

参加費：1600円程度（資料代等500円＋会場利用費＋ワンドリンク）

場 所：渋谷の会議室利用（ご予約時にご案内いたします）

本 　：『雪国』 川端康成（新潮文庫）

定 員：8名程度（要予約）

バリスタ（進行）：芹沢

内 容：

◇ “名作” と呼ばれる作品たちを、既成の評価をいったん脇において、ゆっくりと堪能してみましよう。「哲学的な対話」と「詩的想像力による読み」と「文学的なレクチャー」を一体的にたのしむ読書会です。一冊の作品だけで「ここまで考えられるんだ!？」という清新な沃野へ、いっしょにピクニックに出かけましょう。

#### ◆朝さろん 65th morning

日 時：2017年2月12（日）am9:05-12:00

場 所：渋谷の会議室利用（ご予約時にご案内いたします）

本 　：『愛の渇き（予）』 三島由紀夫（新潮文庫）

### 【夜さろん】 ※会場都合により開催延期となったため再演※

#### ◆第21夜 「2017年です。スナック夜さろん」

日 時：2017年2月～3月の週末開催 14:00～19:00頃

場 所：都内某所（お申込み頂いた方にご案内します）

定 員：10名程度まで

マ マ：せりざわ

参加費：3000円～3500円程度（飲食費込み）

内 容：です。あの伝説のスナック夜さろんが帰ってくる!?

[http://salon-public.com/wp-content/uploads/2015/10/yoru\\_hondana\\_16.pdf](http://salon-public.com/wp-content/uploads/2015/10/yoru_hondana_16.pdf)

さろんのこと、読書会のこと、哲カフェのこと、気になるイベント、

上司やご近所さんへのグチ、飼い猫のこと、SMAP 解散…なんでもござれ。  
ママのスナックで厄を落としていってください。  
ひっそり、しっぽりいたしましょう。

以上、ご予約受付中です。

salontetsugaku@gmail.com (担当：芹沢)

過去の開催内容を HP に掲載しています。

◇朝さろんの本棚

<http://salon-public.com/archives/category/033>

◇夜さろんの本棚

<http://salon-public.com/archives/category/034>

#### 【開催概要】

《朝さろん》第2週の日曜 AM に開催 (場合によって第3週に変更の可能性あり)

《夜さろん》不定期開催

---

### 【3】さろん：序

第2回 テーマ：未定

---

新しい試みとして「さろん：序」が始まりました。

哲学書や古典等のテキストの中から、参加者の合議によって問いを厳選し哲学対話をします。

次回開催の内容は決まり次第メールニュースおよび HP でご案内します。どうぞお楽しみに。

日 時：2017 年予定

テーマ：未定

担 当：堀越

場 所：都内のカフェ (お申込み頂いた方にご連絡します)

参加費：飲食費実費+100 円/人

参加者：5～6名

注 意：参加希望者が一定数に満たないときは止むを得ず中止する場合がありますが、  
予めご承知おきます。

ご予約を受付中です。

salontetsugaku@gmail.com (担当：堀越)

---

### 【4】さろん工房

次回イベントを準備中です

---

さろん工房では、次回のイベントを準備中です。  
現在のところ不定期開催となっておりますが、次回もどうぞお楽しみに。  
さろん工房のアーカイブや、ご要望・リクエストはこちらで受付中です。お気軽にどうぞ。

<http://salon-public.com/koubou/>

salontetsugaku@gmail.com

<https://twitter.com/salontetsugaku>

---

【5】さろん哲学  
第76回 テーマ：「頼る」

---

第76回さろん哲学を下記テーマで開催しました。

日 時：2016年12月17日（土）15:00～17:00

テーマ：「頼る」

進 行：野田

場 所：カフェ・アンダーザマット（中目黒）

参加者：14名

▽司会から：

頼る立場、頼られる立場から、頼る人、頼られる人について対話することで、頼ることについて多面的に考えました。お願いすること、依存することと比較することで掘り下げました。

近日中にHPに議事録を公開します。

詳細はこちらからご覧ください。

<http://salon-public.com/archives/category/023>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

---

【おしらせ】  
さろんラボ 企画を募集中です♪

---

名称：【さろんラボ】

コーディネーター：【大村】

さろんでは「さろんラボ」を常設しています。

このさろんラボではみなさんの「やってみたい」を核に、

「さろん」を触媒にして、どんな化学変化が起きるかを試みる場所です。

「さろんラボ」からは、さろんの参加者の手で、以下の2つのイベントがうまれました。

▼さろんラボ001「あたまの中を散歩するてつがくカフェ」



<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

▼さろんラボ 002 「哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル」

<http://ante-table.wix.com/ante-table>

既存の哲学カフェのカタチに限定せず、みなさんの中で温まっている関心ごとやご興味を添えて、どうぞお気軽に下記までご連絡下さい。

みなさんとの新しい化学変化を、スタッフ一同心から楽しみにしています。

▽詳細はこちらまで

salontetsugaku@gmail.com (担当：大村)

---

## 【6】関連イベント情報

哲学カフェ関連イベントやおもしろスポット、その他おすすめ情報をご紹介します

---

From さろんラボ：001

〔あたまの中を散歩するてつがくカフェ〕第26回

ひとりひとりの言葉をじっくりときき、ゆっくりと考えることを大切に活動しているてつがくカフェです。みなさんのご参加をお待ちしています。

日時：2017年3月の週末開催予定 (決まり次第ウェブサイト等に掲載します)

テーマ：未定

運営・進行：くらち

会場：東京都内のカフェ

定員：6～8名程度

参加費：無料

※参加には事前の申し込みが必要です

※ご都合にあわせて途中参加や途中退出をしていただいてもかまいません

※会場の詳細は参加申し込みいただいた方へご連絡します

※参加費は無料ですが、会場での飲食代実費は各自ご負担ください

※参加申し込みはウェブサイト内の「申し込みと問い合わせ」フォームから、

もしくは [sanpo.tetsugaku@gmail.com](mailto:sanpo.tetsugaku@gmail.com) までご連絡ください (Gmail が受信できる設定をお願いいたします)

ウェブサイト：<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

ツイッター：[https://twitter.com/sanpo\\_tetsugaku/](https://twitter.com/sanpo_tetsugaku/)

お申込み・ご質問：[sanpo.tetsugaku@gmail.com](mailto:sanpo.tetsugaku@gmail.com) (くらち)

---

From さろんラボ : 002

[哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル] 第7回

テーマ : 『両想い』と『ヤキモチ』と。

日時 : 2016年1月14日(土) 14:30~16:30

費用 : 1000円(ハーブティ・お菓子付き)

人数 : 6名程度

会場 : 『ギャラリー冊(サツ)』併設カフェ

(東京メトロ九段下駅2番出口より徒歩10分)

[http://www.satsu.jp/?page\\_id=9](http://www.satsu.jp/?page_id=9)

哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル

HP : <http://ante-table.wix.com/ante-table>

email : [cafe.ante.table@gmail.com](mailto:cafe.ante.table@gmail.com)

-----  
(一覧になっているもの)

▽首都圏哲学関連イベントまとめサイト

<http://tokyotetsugakumatome.g.hatena.ne.jp/>

▽もっと自由に「てつがく」したい!対話がメインな東京の哲学カフェまとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2136167936080093501>

▽全国各地の哲学カフェ

<http://matome.naver.jp/odai/2138543414370880601>

▽哲学カフェ一覧

<http://www.135.jp/lite/>

▽東京で行われている読書会まとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2135489489421994201>

-----  
▽カフェフィロ

<http://www.cafephilo.jp/>

▽哲学プラクティス連絡会

<http://philosophicalpractice.jp/>

▽第2回 Kavli IPMU/ELSI 合同一般講演会「起源への問い」

<http://www.ipmu.jp/ja/2017origin>

日時 : 2017年1月22日(日) 13:00~16:30 (12:30開場)

会場： 東京大学 伊藤謝恩ホール

対象： 高校生以上

参加費： 無料

定員： 400名

申込： <http://www.ipmu.jp/ja/2017origin> (概要の申込の項参照) ※1月9日申込締切

通知： 応募多数の場合は抽選。決定の通知は1月10日頃に連絡。

主催： 東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構  
東京工業大学地球生命研究所

#### ▽第6回東京メタ哲学カフェ

東京メタ哲学カフェは、哲学カフェ・哲学対話そのものについて対話しています。

日時：平成29年1月8日(土) 13時30分～17時

場所：新宿消費生活センター分館 会議室

(高田馬場駅戸山口から徒歩2分、山手線、西武新宿線、東西線)

<http://consu.shinjuku-center.jp/Access>

参加費用： 500円

テーマ：「なぜ私たちは哲学カフェで哲学するのか？」

キックオフトーク：本間正己(人生カフェ)

事前予約： メールで本間まで [mgasami.honma@gmail.com](mailto:mgasami.honma@gmail.com)

定員：10名

詳細：詳しくは「東京メタ哲学カフェ」で検索を。

<https://www.facebook.com/tokyometal/>

\*東京メタ哲学カフェは原則として毎月第一日曜日の午後に開催しています。

2月5日(日)は、さろんの芹沢さんにキックオフトークになって頂く予定です。

#### ▽原田まりる著：「ニーチェが京都にやってきて17歳の私に哲学のこと教えてくれた。」

推薦文：実存主義を中心にその核心的な部分を分かり易く解説してくれており、  
すらすらと読み進めることができる絶好の入門書。

<http://www.amazon.co.jp/dp/4478069654/>

#### ▽どうぶつのことば：根源的暴力をこえて

羽鳥書店 鴻池朋子 価格：¥3,672

<http://www.hanmoto.com/bd/isbn/9784904702635>

#### ▽『「シン・ゴジラ」をどう見るか』河出書房新社編集部編 ●1600円

<http://www.kawade.co.jp/np/isbn/9784309277738/>

#### ▽パンピーJDがゆく。先生、「哲学対話」って何ですか？

<http://trapro.jp/articles/759>

#### ▽第15回ストーリーの内容と、発話する理由とは、べつの層にある。| 人生につける薬

<http://www.webchikuma.jp/articles/-/374>

▽大塚英志「ネットのわかりやすさは共感できない現実を排除していく」 | 『感情化する社会』の不愉快な現実

<https://cakes.mu/posts/14592>

▽国立大学の現状についての基本的な4つの誤解について (西田亮介)

<http://bylines.news.yahoo.co.jp/ryosukenishida/20161127-00064861/>

▽紅白、のど自慢...NHK 娯楽番組の基礎を創った「大奇人」

<http://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2016/11/nhk-1.php>

▽人生カフェ

詳細：詳しくは「人生カフェ」で検索を。

<http://tokyojinseigakuin.cocolog-nifty.com/blog/>

▽ねりまの哲学対話 “ねりテツ”

<http://msentalife.wixsite.com/entalife>

▽NPO 法人こども哲学おとな哲学アーダコーダ

<http://ardacoda.com/>

▽Core Talk Cafe おとなのためのてつがくカフェ

<http://www.coretalkcafe.jp/index.html>

▽はなこ哲学カフェいどぼたのいどほり

<https://www.facebook.com/hanakophilosophycafe/>

▽「人間らしさ」すら変わるかも。未来を示唆する芸術×科学最前線

<http://www.cinra.net/interview/201609-kenpokuart>

▽てつがくカフェ@せんだい

<http://tetsugaku.masa-mune.jp/>

▽『狂うひと』 梯久美子 (新潮社)

島尾敏雄『死の棘』の謎を解く衝撃大作。未発表原稿や日記等の新資料によって不朽の名作の隠された事実を掘り起こし、妻・ミホの切実で痛みに満ちた生涯を辿る、渾身の決定版評伝。

<https://www.amazon.co.jp/dp/4104774022/>

\*(参考)[http://salon-public.com/wp-content/uploads/2016/09/hondana\\_63.pdf](http://salon-public.com/wp-content/uploads/2016/09/hondana_63.pdf)

▽死者の土地における文学：大城貞俊と沖縄の記憶

めるくまーる 鈴木智之(著) 価格：¥1,944

<http://www.hanmoto.com/bd/isbn/9784839701697>

▽毎日新聞・校閲グループに「正しい言葉づかい」について聞いた！

<http://hrnabi.com/2016/09/14/12033/>

▽原稿の推敲・校正・リライトを支援する3つの文章チェックツールを作りました！

<http://tokimaki.hatenablog.com/entry/2016/10/23/160512>

▽小金井哲学カフェ

<http://koganei-philosophycafe.blogspot.jp/>

▽高千穂大学哲学研究会パイディア

<https://paideiatakachihophilosophy.wordpress.com/>

▽UTCP（東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属「共生のための国際哲学研究センター」）

<http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>

▽P4C-japan

<http://p4c-japan.com/>

▽クラリスブックスの読書会 | 東京下北沢の古本屋

<http://blog.clarisbooks.com/2014/07/15/2696>

▽読書会ガイブンキョウク

<https://twitter.com/gaibunkyoku>

▽京都・大阪市民読書会

<http://kyotobookclub.blog.fc2.com/>

▽おへそ保育園「こども哲学」レポートブログ

<https://kodomotetugakuacademy.amebaownd.com/>

---

## 編集後記

メールニュース第82号をお届けします。

元日を迎えました。

迎えたと思ったらもう翌日になろうかという時間です。

時計の針が昨晚のテッペンを回る瞬間、びっくりするくらい気分が変わったりしますよね。

連続している時間のなかに、非連続なくさびを打つこと。

年越しみたいに、社会的・文化的に仮構されたくさびもあれば、  
毎日の半身浴 25 分みたいに人それぞれのくさびもあるでしょう。  
いずれにしても、あたらしい年、あたらしい一頁が、みなさんにとって佳きものとなりますよう。

ことし最初のメールニュースでは、新年恒例のスタッフあいさつを掲載しています。  
新年の抱負ひとつとっても、けっこう個性が出てるとおもいませんか。  
これらスタッフの力をあわせて、ことしも「さろん」という場を継続していきます。  
ぜひみなさんも遊びにいらしてくださいね。  
たくさん話して、たくさん感じて、いっぱい深呼吸しましょう。  
本年もどうぞよろしく願いいたします。

それではまた次号でお会いしましょう。ほう。  
編集: (フクロウ)

さろん | Mail News 2017/1/1  
⇒次号 (1 月 15 日発行予定)

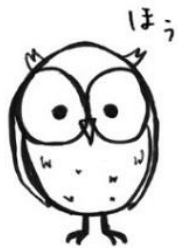
---

---

さろん Mail News 第 82 号 / 2017 年 1 月 1 日発行【イベント号】  
編集・発行: さろん  
salontetsugaku@gmail.com  
<http://salon-public.com/>  
<https://twitter.com/salontetsugaku/>  
<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

---

- ◇ 「さろん」にお知らせいただいたお名前・メールアドレスなどの個人情報は、  
当会からのご案内のためだけに使用いたします。  
また、ご本人の同意なく第三者への提供はいたしません。
- ◇ 「Mail News」の無断転載はご遠慮ください。転載ご希望の場合はご連絡願います。  
バックナンバーは HP からご覧いただけます。
- ◇ 【Twitter】 <https://twitter.com/salontetsugaku>
- ◇ 【Facebook】 <https://www.facebook.com/salontetsugaku/>
- ◇ 【ホームページ】 <http://salon-public.com/>
  - 「さろん哲学」 Web サイト <http://salon-public.com/tetsugaku/>
  - 「朝さろん」 Web サイト <http://salon-public.com/asa/>
  - 「さろん工房」 Web サイト <http://salon-public.com/koubou/>



"copyright (c) 2011-2017 さろん. All rights reserved."

---